

自由課題:スクリーニング結果の適正使用による適切な緩和ケアの提供実施
(平成29年7月1日~12月末日)

施設名	Plan (計画)	Do (実行)	Check (評価)	Act (改善)
52 一般財団法人 住友病院	スクリーニング結果の適正使用による適切な緩和ケアの提供実施	<ul style="list-style-type: none"> ・がん患者様を対象として実施 ・各患者様毎に、スクリーニングを実施し電子カルテに記載 ・各セクションに緩和ケアリンクナースを配置し、がん患者に対するスクリーニングが適切になされているか、各月ごとに分析を実施 ・スクリーニング結果を基に、患者様とそ のご家族の要望を伺いながら最も適切な ケアを提供できるよう、診療サイドに働き かけを行う 	<ul style="list-style-type: none"> ・リンクナースによる全件スクリーニングにより がん加療を目的に入院された 患者様の内、89%に対しスクリーニングを実 施 現場の状況としては、良性腫瘍の手術で入 院する患者の場合、クリーニングは 実施していない。しかし、「腫瘍」と病名 がついた場合、スクリーニング 対象者の母数として掌握されていることで、 見た目の実施率は低下する。 その部分の詳細の把握は各部署のリンク ナースが把握し、必要な患者にスクリ ーニングが実施されているか確認すること が できている。 ・スクリーニング内容は全件緩和ケアチームに 報告、症例に応じた緩和ケアの提供に 繋げるとともに、早期に診療サイドへの情報提 供を図るべく体制が強化された ・緩和ケアチームではリンクナースのサポートを 実施、毎月サポートナース会を開催し 日々のケアにおける不明点や不安に対する フォロー、必要に応じた指導を行い、 スタッフのボトムアップを行った 	<p>外来患者様に対するスクリーニングについては 各科対応となっており、ペーパー管理のためダ イレクトに電子カルテに情報が反映されず、情 報共有の面で支障を来す場合がある。また、 外来における対象者については、対象者数自 体が非常に多く、全件スクリーニングを実施す るには至っていない。外来スタッフのスキルアッ プを図るとともにより多くの情報を正確に素早く 電子カルテに反映させ情報共有を図るべく運用 の見直しを行う。</p>